

## はじめに



わが国は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進んでいます。団塊の世代が全て75歳以上となる2025年には、高齢化率が約30.0%に達し、国民の約3人に1人が65歳以上に、さらには、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には高齢化率は35.3%に達し、国民の約2.8人に1人が65歳以上の高齢者という社会が到来すると予測されています。

本市におきましても、65歳以上の割合は年々増加しており、2020年度には27.5%、今期計画中には、28.9%、さらに2025年には29.7%に上昇し、今後もこの傾向は続くものと考えられます。

それに伴い、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、要支援・要介護認定者及び認知症高齢者の増加が見込まれ、在宅生活を支えるサービスの充実とともに、介護予防や認知症施策等に係る各事業の重要度は増し、高齢者福祉に対する需要はさらに高まってまいります。

このような状況の中、第8期計画では、「高齢者が住み慣れた地域で 健やかに いきいきと暮らせるまちづくり」という基本理念の下、本市の特色に合わせた基本目標、基本施策を定め、重点施策を中心に「介護予防の推進」「認知症施策の充実」「医療と介護の連携」等、本市で暮らす高齢者やそのご家族が安心して過ごせるよう、2025年・2040年を見据えた「地域包括ケアシステムの推進」に取り組み、「地域共生社会の実現」を目指してまいります。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国民生活に大きな変化をもたらしました。感染防止のため、いわゆる「3つの密」を避け、極力非接触・非対面とする新しい生活様式は、人と人が寄り添う・集うといった活動を困難にしております。

このような厳しい状況の中、人と人が直接関わる仕事を担う介護サービス事業者の皆様におかれましては、感染予防対策に取り組みながらサービス提供を継続いただいていることに、この場をお借りして感謝申し上げます。

結びに、この計画の策定に当たり、熱心な議論や御意見をいただき、多大な御協力を賜りました介護保険運営協議会委員の皆様をはじめ、各アンケート等において貴重な御意見御提案をいただきました皆様に心から感謝を申し上げます。

高齢者の方々やそのご家族が、住み慣れた地域で、健やかに、いきいきと、安心して暮らせる那須塩原市の実現のため、今後も引き続き、御協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月

那須塩原市長 渡辺 美知太郎